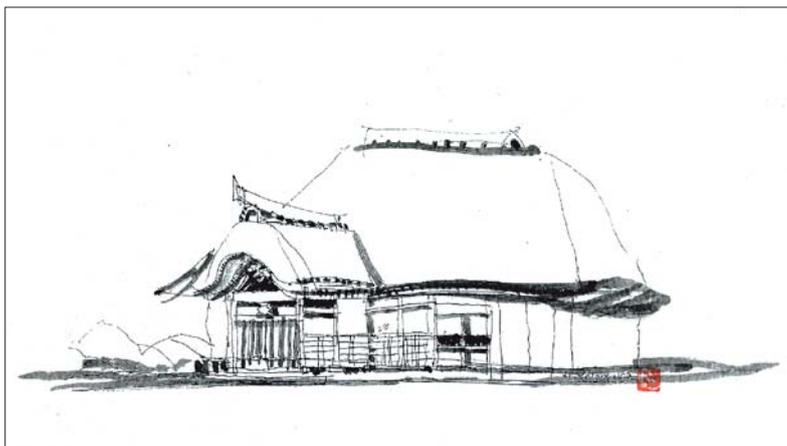


(2017-18年度 国際ロータリー・テーマ)



ロータリー：
変化をもたらす



県指定文化財「富岡家住宅」(土浦市)

「グッドサイン賞」と電力設備

高原 一嘉 (電力)

みなさん、茨城県「まちづくりグッドサイン賞」をご存じでしょうか？

水戸市三の丸地区に観光案内の表示板を設置した同市が、昨年この栄えある賞を県から受賞しました。

この表示板には、現在の地図に古地図を重ねた「弘道館・水戸城跡周辺地図」と、現在地から周辺にある弘道館や二の丸展示館、低区配水塔等の観光名所までの方向や距離が表示されています。

そして、この表示板として使って頂いたものが東京電力の“地中配電設備”なのです。

高さ1.5m、幅1m、奥行0.5m程の頑丈な鉄製の箱の表面をラミネートで特殊加工し、由緒ある水戸の古地図や案内版をこれに貼り付けています。

さて、この鉄製の箱の中には電柱の上の方に乗っている変圧器（灰色のバケツのようなもの）等が小型化され納まっています。

ご存じのとおり水戸市内は水戸駅周辺を中

心に電柱や電線の地中化が進んでいます。地中配電化は景観に加え、地震や火災等の防災面においても優れた面を持っています。

一方、残念ながらこの地中化は単にメリットばかりではありません。設置費用は一桁程多くかかることや、家屋やビルが倒壊するような大規模災害においては、かえって復旧に大幅な時間を要することにもなります。（ちなみに阪神大震災では水道、ガスの復旧に数週間要し、電気は翌日には9割、7日目には全面復旧）とは言え、電柱や電線は決して見栄えがよいとは言えず、さらなる観光立国を目指す我が国にとって地中配電化は是非とも推し進めたいところだとも考えます。

まだご覧になっていない方は是非三の丸の“鉄製の箱”まで足をお運び頂き、電力設備がこんな形で地域に役立っている姿をご覧頂くことで、地中配電化のメリット、デメリットに思いを馳せて下されば嬉しい限りです。

No. 31 2018・2・20

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

■事務所

■会長 砂押 憲正 ■幹事 衣笠 勤

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>



数多い企業支援を行うコンサルタントの中で、経済産業大臣認定の我々、中小企業診断士は、特徴と言えば国の成長戦略や経済の方向性を少し頭に入れながら、中小企業支援を行なっている点であります。国の方向性を中

小企業に入れ込む事で、例えば国の補助金を受け易くなったり、企業間の連携などダイナミックな企業活動も可能になるケースがあり、地域に常に密着しながら、企業に寄り添い身近な支援を行う仕事をしています。

本日は、そんな中小企業診断士の仕事を、25年以上続けてきた私の経験の中で、今後も続くであろう、地域中小企業を取り巻く経営環境変化の中で、企業が生き残っていく為の3つのアイデアをお話し致します。

今後の企業経営において、経営者が改めて更に入れ込んでおく必要がある3つの要素は、
①何故？という考え方 ②かような～評価
③どの様な～企業価値創造～NK殿という3要素です。

この水戸の地の要とも言える那珂川の「ナカドノ」を治めれば、経営者として立ち向かっていけると思います。それでは、その「ナカドノ」の中身をご説明します。

① 何故？という要素

我々が企業の強みを発見し、そこから活性化の糸口を見出していく手法（知的資産経営支援など）があります。たとえば、商品分析の場合、何故その商品が売れているのかを質問します。すると、「高品質だからです。」などと返答があります。

では「何故、高品質なのか？」と聞いてみます。すると「他社より高品質である」という返答がある。では「何故、高品質が実現できるのか？」という様に、何故？→原因、要因を、経営資源の人、モノ、カネ情報やマーケティング要素である、製品、価格、流通経路、販売促進、更には総合や市場環境・ニーズと様々な切り口で、掘り下げていきます。

そうする事で、漠然としていた原因、要因がマーケティングなどの企業活動の要素により分析され、つまりは活性化の糸口がつかめてきます。この商品分析したある企業の場合、結果と

して高品質の原因は、職人の磨く技術が優れていた事が判り、次の製品作りに活かされました。

また、何故？の視点では、今、働き方改革等、労働環境も大きく変化が予想されている状況では、「何故？働くのか？」「何の為に仕事をするのか」という様な会社として基本的事項を共有化していく事も重要です。その為に、今、お蔵入りしているかも知れませんが、会社の経営理念の点検や徹底も必要になります。

② かような～評価という要素

評価とは、大きく言えば自社の正しい評価～事業性評価です。従来は、決算書などの財務情報分析と評価が一般的でしたが、今後は、非財務情報～目に見えない価値⇨たとえば伝統、知名度、技術力、ノウハウなど、4つの視点～経営者力、事業、経営環境、内部管理体制～を着目し、企業活動そのものを明らかにし財務分析と合わせて、本当の企業力を評価しておく事です。

自社の正確な力量を裏付けとして、将来の的確な戦略を導いていく事が重要です。昨今、国も中小企業の非財務情報の重要性を再認識し始めており、（ローカルベンチマーク）、この非財務情報を自らまとめておく事が、追い風～事業性評価UPにつながっていきます。

③ どの様な～企業価値創造という要素

①、②の要素で、当面の活性化を図っていく過程で、企業の事業領域や事業構成、更には全く新しい事業へ着手するなど、環境変化に対応する為、路線変更（戦略変更）を図るケースが出てきます。つまり企業のライフサイクルが短くなり、従来培った企業力を応用していかに新たな企業価値や活動を見出していかか、「攻めの姿勢」が重要です。

以上、企業が今後生き残っていく為の3つのアイデア～「ナカドノ」を説明しました。

この3要素は、企業活動の点検、着目から始めるもので、別にコストもかからず、経営者の意識変化からスタートするものです。

我々、中小企業診断士は、3つの要素を切り口として、経営者の「気づき」をサポートする時で、企業支援を行い地域貢献を図っていきたいと考えています。

経営は、いつの世も、まず経営者自らが「気づき」「変わる事」で、維持、発展、継続するものだと痛感・確信しています。

「ナカドノ」の要素を頭に入れて大いに気づいて頂き、自ら「明日への経営」の道を拓いて頂く事をお願い申し上げ、本日の卓話を終了します。

中小企業診断士の視点レジュメ

～今後 企業が生き残っていく為の3つのアイデア～

1. 3つのアイデア～「ナカドノ」について

3つのアイデア { 何故?という考え方 ㊦
かような という評価 ㊧ ⇒那珂川を基点とする
どの様な 企業価値創造 ㊨㊩ 水戸ならではの発想

2. 3つのアイデアの内容

① 何故?という考え方

要因、原因を明らかにする事で、活性化の糸口をつかむ

着眼点～経営資源～ヒト、モノ、カネ、情報

マーケティング要素～製品、価格、流通経路、販売促進、市場、環境、顧客ニーズ 等

② かような という評価

真の企業評価 { 財務情報～数値化されているもの (定量)

非財務情報～目に見えないもの (定性)

非財務情報をつかむ→真の事業性評価⇒中小企業に追い風

③ どの様な～企業価値創造

企業のライフステージ→環境変化が激しい⇒結果として短くなる (サイクル)

対応策⇒①、②で明らかになった企業力をベースとして新たな戦略、戦術を組み入れていく
事がポイント

3. まとめ

・「気づき」の重要性

・スタートは、まず「経営者」

「ナカドノ」を現場や日常の企業活動に応用し、活性化の糸口をつかむ

例会報告

2月第4例会

司会 浅桜 委員

◇ ポール・ハリス・フェロー認証状及びピン伝達

砂押会長より、土子仁志会員にはポール・ハリス・フェロー認証状及びピンが手渡されました。

◇ ゲスト紹介

茨城県中小企業診断士協会 会長 川又 昭宏 氏

◇ 会長の時間

砂押会長

やっと春らしい天気になってきました。朝晩の温度の差は感じますが、過ごしやすくなりました。現在開催中の冬季オリンピックは、日本人選手が活躍しメダルでは金2銀2銅3個を獲得、本日もメダル獲得が期待される勢いです。頑張ってから後半も楽しませて頂きたいものです。

昨日水戸市内6RC会長幹事会がありました。残すところ4ヶ月になりお互いの顔が少し明る

く感じました。週末のアースデイ「一人一本の木を植えましょう」というクラブ事業に是非ともご参加下さい。

さて、2018-19年度のR.I.バリー・ラシン会長のテーマが「インスピレーションになろう」と決まりました。またR.I.会長賞も項目が追加され、インターアクトやローターアクトが対象のものも加えられました。そろそろ次年度の情報も発信されていますので注目して下さい。

◇ 出席報告

沼田委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
114名	72名	42名	67.29%

前週訂正出席率 71.96%

前々週訂正出席率 73.64%

◇ 会員メイクアップ

2/14 水戸西RC 横須賀満夫
2/16 ワールド大阪REC 田母神博文
2/17 第5分区IM 井上 壽博
2/19 水戸さくらRC 石井 隆志

◇ にこにこBOX

鯉沼委員

砂押会員……日本がんばれ、今日メダル取れますように。

鈴木(真)会員……少し良いことがありました。

小泉会員……テーブルのお花ありがとうございます。

大塚会員……冬のオリンピック、羽生さん、小平さんの金メダル獲得を記念して。

村田会員……誕生祝いありがとうございます。

大関会員……誕生日プレゼント有難うございます。

中村会員……妻の誕生日プレゼントありがとうございました。

本日の合計	7件	40,000円
-------	----	---------

◇ 財団BOX

秋山 現信会員……財団の友献金

(第5回) \$100 11,000円 (累計 \$1,500)

安 圭一会員……財団の友献金

(第9回) \$100 11,000円 (累計 \$900)

白田 礼治会員……財団の友献金

(第5回) \$100 11,000円 (累計 \$500)

この計	3件	33,000円
-----	----	---------

◇ 米山BOX

浅桜 理樹会員……準米山功労者献金

(第5回) 10,000円 (累計 50,000円)

この計	1件	10,000円
-----	----	---------

◇ 幹事報告

衣笠幹事

1. 地区補助金管理セミナーが開催されます。

とき 3月11日(日) 登録 9:30

開会 10:00 閉会 15:00

ところ ダイヤモンドホール

筑西市玉戸1053-4

出席者 白田 礼治 次期国際奉仕委員長

2. 今年度第2回ロータリーを楽しむ会が開催されます。主に入会3年未満の会員にはロータリー活動の意義をご理解頂くとともに会員相互の懇親を図ることを目的としております。また、入会年数に関わらず多くの会員のご参加をお願い申し上げます。参加会員は、メイクアップ扱いとなります。

とき 3月6日(火)

17:30 於 水戸東照宮 見学
水戸市宮町2-5-13

18:30 於 楽天 懇親会
水戸市宮町2-5-6

TEL 221-3210

会費 6,000円

3. 全国ローターアクト研修会に7名の追加登録があり、総人数17名の登録となりました。

足立 修、萩原 武、齊藤 佳昭、

高貫 修、薄井親一郎、横須賀良一、

田中 邦彦

……ロータリー財団より2016~2017年度「End Polio Now」感謝状が届きました。……

「End Polio Now: 歴史に1ページを刻もう」キャンペーンに温かいご支援をお寄せくださった貴クラブのご厚志に深く感謝申し上げます。今後もポリオ撲滅という世界中の子どもたちとの約束を果たすためにともに力を合わせてまいりましょう。



週報担当 和田幾久郎 副委員長

例会予告

3月6日(火)

卓話「アナウンサーになる前と後の私」
茨城放送アナウンサー 菊地 真衣氏

3月13日(火)

卓話「ミュージオンでお見通し。ピラミッドから宇宙初期の謎まで」

茨城大学理工学研究科

準教授 飯沼 裕美氏

3月20日(火)

一定款第8条第1節に付き休会一

…… 例会欠席の方は、4日前までに事務局までご連絡下さい。……